

科目名 (Eng)		工学セミナー(Engineering Seminar)							
担当教員		全員							
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		機械工学科	4	通年	必修科目	2	(60)	専門	C
目標基準との対応		福島高専の教育目標との対応：(C-5),(C-6),(D-1),(D-2),(D-3),(D-4),(D-5),(E-1),(E-2),(E-4)(F-1),(F-2),(F-3),(F-4),(F-6)							
		卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：3), 4), 5), 6)							
		JABEE基準1(1)との対応：(c), (d)-(1), (d)-(2)-a), (d)-(2)-b), (d)-(2)-c)(d)-(2)-d), (e), (f), (g), (h)							
授業の概要と方針		PBL方式で授業が進められる創成科目であり，5年生の卒業研究に備え，文献の輪講や実験，模型製作などを行い，成果は報告書にまとめられる．							
到達目標		研究分野に関する基礎知識を習得する． abstractを含めて論文のまとめ方を修得する． 自ら考えて研究課題に対処できるようになること． 基本的な測定機器の操作方法を習得すること．							
授業計画									
(セミナーの実施) - 各指導教員の専門分野における先端技術の紹介 - 専門分野の英文文献購読 - 卒業研究に向けての調査研究，あるいは興味ある技術課題の抽出など． (セミナーのテーマ) - 金属複合材料の基礎学習 - 音の基礎と低周波音の聴覚特性 - 金型とリハビリ機器の学習 - スターリングエンジンの学習 - ゴルフに関する基礎学習 - 伝熱工学の基礎と凝縮熱伝達の学習 - 熱流体計測機器の種類と原理の学習 - 塑性加工の基礎知識と加工方法 - 卓上放電加工機の製作 (セミナーの評価) - セミナーの成果は本校所定の様式に従い，まとめる．									
試験について		定期試験を実施しない．							
評価方法		報告書の成績，プレゼンテーション能力などで総合的に評価する．							
教科書									
参考書		担当指導教員により指定される．							
関連科目		卒業研究							
履修上の注意		旺盛な好奇心をもち，自発的な学習を基本とする．							